

2012 ジュニア陸上競技会

開 催 要 項

1. 目的
障害児（13歳から20歳までの身体障害児及び知的障害児）に日頃の練習の成果を発揮する場を提供すると共に、大会を通じて選手相互の交流と親睦を図り、より一層の社会参加を促進することを目的とする
2. 主催
東京都障害者総合スポーツセンター
東京都多摩障害者スポーツセンター
3. 主管
国土舘大学 陸上競技部
4. 期日
平成24年9月22日（土）
受付開始 9：00（予定）
5. 会場
国土舘大学陸上競技場
〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1

<会場へのアクセス>
○小田急多摩線・京王相模原線永山駅下車 「鶴川駅行」バスで永山高校前下車、徒歩5分

○小田急線鶴川駅下車 「永山駅行」バスで永山高校前下車、徒歩5分

○駐車場完備
自動車で来場する場合は、駐車場確保の都合もありますので、別紙『申込書』に（後日送付する『駐車許可証』を提示し、大学正門付近のガードマンに陸上競技場入り口付近に駐車する。）
6. 実施種目及び競技区分
別紙のとおり
7. 参加資格
陸上競技大会参加経験のある、身体障害者手帳及び愛の手帳を所持する13歳（平成24年4月1日現在13歳以上）から20歳までの者、及び主催者が認めた者
8. 競技規則
「平成24年度全国障害者スポーツ大会 競技規則」及び本大会「申合せ事項」を適用する
9. 表彰
① 表彰は行わない
② 参加者全員に記録証を発行する
10. 申込先及び問合せ先
別紙「参加申込書・誓約書」に記入のうえ平成24年9月7日（金）までに下記へ持参、郵送又はファックスにて申込むこと
①東京都障害者総合スポーツセンター
〒114-0033 東京都北区十条台1-2-2 東京都障害者総合スポーツセンター
ジュニア陸上競技会担当 瀬上・佐藤 宛
TEL 03-3907-5631 FAX 03-3907-5613

②東京都多摩障害者スポーツセンター
〒186-0003 東京都国立市富士見台2-1-1 東京都多摩障害者スポーツセンター
ジュニア陸上競技会担当 井田・橋本 宛
TEL 042-573-3811 FAX 042-574-8579

11. 参加費
なし

12. その他

- ① 健康と安全においては各自で十分に留意すること（各自保険証の持参などの対策も行うこと）。競技中におきた事故については応急処置のみ行う。なお、主催者において傷害保険に一括加入する
- ② ナンバーカードは大会当日に配布する
- ③ 申込後の参加種目の変更は一切受付けない。また、主催者から参加希望者への出場に関する通知等を行わない
- ④ 送迎に関しては一切行わないので各自対応すること
- ⑤ 競技場周辺に飲食店や売店が少ないので、昼食等は各自あらかじめ準備することがのぞましいと思われる
- ⑥ 参加申込書に記載した個人情報については、本人の同意に基づいて、本大会のプログラム等の印刷物への記載、または競技事項に関する連絡など本大会の運営に関してのみ適切に使用する
- ⑦ 広報用に写真を撮る場合があるので予めご承知おきいただきたい。
- ⑧ スパイク使用者は、ピンの長さをトラック競技9mm、フィールド競技12mm以内とする。
- ⑨ 出場種目は2種目までとし、実施種目のうち、特に下記の点には注意して申込むこと。
a:区分24・25の50mは音源走とする。
b:区分24・25の50mと100mは選択制とし、両方には申込むことはできない。
c:立幅跳と走幅跳は選択制とし、両方に申込むことはできない。
d:区分10、16の50m競走で使用する車椅子は日常生活用とする。
- ⑩ ウォーミングアップ場は設けていない。トラック競技の行われていない時間にバックストレート側走路を使用すること。競技役員の指示に従うこと。競技場外では実施しないこと。フィールド競技の練習は（競技開始時間前）公式練習において、競技役員の指示に従って行うことと
- ⑪ 荒天時の中止の判断は当日の午前7時とする。

13. 競技について

- ① 受付開始予定 9:00
- ② 競技日程
10:00 競技開始予定
* 競技時間については申込終了後に決定する。
- ③ セパレートレーンで行う視覚障害者のトラック競技、伴走車を伴う競技者には、1競技者に2レーンを割り当てる。
- ④ 走高跳を除くフィールド競技の試技は3回までとする。
- ⑤ 走高跳のバーの最初の高さは、競技者の参加申込時の申告を参考に決定する。バーの上げ方は、参加競技者の状況に応じて審判長が決定する。
- ⑥ 投てきに使用する競技用具は、主催者が用意したもとする。
- ⑦ 投てき競技は、競技運営の関係上、3連投とする場合がある。
- ⑧ 車いす使用者の800m以上の競走競技に出場する競技者は、必ずヘルメットを装着すること
- ⑨ 予選は行わず、各組ごと1回の決勝とする。
- ⑩ 参加者の少ない障害区分は、他の区分と同時に競技する場合がある。